

『ぶらっとさらく・まち歩き』アイデア募集!

さて、この度、「新しい公共の場づくりモデル事業」(内閣府)に、島原市と連携して応募した『島原さらくプロジェクト』が公開審査の末、みごと選定されました。このモデル事業は、行政を含む多様なまちづくり団体等が、連携・協働して地域課題の解決に向けて行う先進的な取組みを選定し、支援していこうというものです。

『島原さらくプロジェクト』は、森岳地区の酒蔵を拠点として、歴史的な街並み(登録有形文化財建物群)や湧水群を活かし、「歩いて楽しめる街」を演出しようというものです。市民の健康づくりと観光客の誘致にも貢献できる体制をつくり、支援期間(～24年度)が過ぎても事業は継続し、市内全域に広げていく予定。好評を博している「長崎さらく」にも負けない、島原で『さらく(散歩する)』といえば、これだ!と言われるような運動にしていきたいと思っています。

早速、拠点「酒蔵」を案内所として整備し、皆様のおいでをお待ちしています。ここで、皆様からの『さらく・歩き』についての様々なアイデア・情報をお待ちしています。さらくコースの提案、酒蔵を活用したイベント企画、歴史見所、街角うんちくなどなど、何でも結構です。

■アクセス

- 列車でおいでの方:島原駅からどうぞ。
- 車でおいでの方:コース最寄の駐車場からどうぞ。
 - 大手広場:100円/時 ●島原城:310円/日
 - 島原駅:320円/日 ●文化会館:無料(空いている時)
- 船でおいでの方:島原港から島原駅or大手までバス。



無料シャトルバスも
1日5便出ています!

乗降場所	島原港	広馬場	会議所前 (道の泳ぐまち)	島原駅	島原城
1便	10:00	10:03	10:07	10:10	10:14
2便	11:10	11:13	11:17	11:20	11:24
3便	12:20	12:23	12:27	12:30	12:34
4便	13:50	13:53	13:57	14:00	14:04
5便	15:40	15:43	15:47	15:50	15:54

※ご乗車は乗車券をお持ちの方に限らせて頂きます。予めご了承下さい。

島原港	雲仙長 災害記念館	みずなし 本陣	ネイチャー センター	本光寺	武家屋敷
11:02	10:54	10:51	10:34	10:23	10:18
12:12	12:04	12:01	11:44	11:33	11:28
13:22	13:14	13:11	12:54	12:43	12:38
14:52	14:44	14:41	14:24	14:13	14:08
16:42	16:34	16:31	16:14	16:03	15:58

平成25年3月31日まで 関島鉄観光(株) ☎(0957)62-2235



幻の廊下橋を見上げる(地図中⑧)

■便利電話帳

- 酒蔵(島原さらく案内所)..... ☎(0957)68-7616
- 観光ガイド大手門番..... ☎(0957)63-3899
- 島原温泉観光協会..... ☎(0957)62-3986
- 島原城..... ☎(0957)62-4766
- 島原駅..... ☎(0957)62-4705
- 島原市役所..... ☎(0957)63-1111

380年前、島原にやってきた松倉重政は、戦国武将の意気込みで立派なお城と6筋の家並の城下町を残しました。しかし、島原の人々は、心の拠り所だったキリスト教を厳しく弾圧され、大きな負担を強いられた悲しい歴史(1637年の島原の乱)も残しました。

200年前、寛政の大地変は、島原城下町に大きな被害をもたらしましたが、湧水あふれる大地の恵を残しました。

さあ、歴史の街島原を、湧水に誘われてさらき(散歩)しましょう。



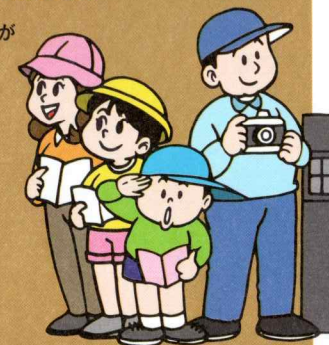
酒蔵横の東虎口坂の奥に丑寅の櫓
植木俊英さん「しまばら浴衣祭り写真コンテスト」入賞作品

■案内人(観光ボランティアガイド)はいかが?

予約問い合わせ:0957-63-3899

マップ片手に巡るのもいいですが、島原を愛する観光ボランティアガイドさんの案内で巡るのもまた新しい発見がありますよ。

(1週間前までにご予約ください。ガイド料 1,500円)



①『城下町散策コース』～森岳界隈をさらく～

- 1 酒蔵
- 2 森岳の街並
- 3 青い理髪館
- 4 堀の中(菖蒲園・ホテル)
- 5 時鐘楼
- 6 武家屋敷
- 7 島原城
- 8 幻の廊下橋
- 9 佐久間邸跡
- 1 酒蔵

所要時間:約90分(2.1km)

編集後記:歴史の街・島原、湧水あふれる島原には見所がたくさんあって、特に島原城周辺は魅カイクパイの所です。今回お届けするマップは、ほんの一部を紹介しましたが、それでも盛りだくさんの内容になっています。今後は、さらに色々なコース(寺町界隈・鯉の泳ぐ街界隈...)テーマ別(湧水・キリシタンの歴史・文化財...)など工夫をしたいと思っています。※この地図の複製は大歓迎です。^^ 2012.3

■お問い合わせ:島原さらくプロジェクト(森岳まちづくりの会 代表 小川泰一)

毎日午前10時～午後5時 電話:0957-68-7616 FAX:0957-68-7617
〒855-0045 長崎県島原市上の町897 酒蔵

ホームページ http://moritakesaraku.cocolog-nifty.com/

島原さらくプロジェクト

検索



1 酒蔵 ☎(0957)68-7616

「島原さらく」の総合案内所「酒蔵」は明治38(1905)年築造の有形登録文化財建物。丸い形をしたレンガ煙突は非常に珍しく筑豊の炭鉱にしかありません。ここ東虎口門は島原城にあった七つの門の一つで(普段は閉じられていた)この石垣が城内と城下町を区切っていたものです。

2 森岳の街並(森岳商店街)

400年の歴史を刻む森岳の街並みは、島原城のお膝元に生まれました。島原大変(1894)の大被害も乗り越えて、長く島原半島の中心商店街でした。通りに垣間見える石垣の連続はそのまま島原城郭ライン。今も当時の面影を残す有形登録文化財建物群がいくつも残っています。

車社会になって時代に取り残されましたが、それゆえに街並が残り、現在は歴史を活かしたまちづくりを進めています。日本語も島原弁も通じますから、街の人に話しかけてみてください。まちへの思いが伝わってきますよ。

◆森岳の街路灯

街歩きのためになるのが…道祖神をイメージした街路灯。側面には趣向を凝らした案内プレートがついています。「道しるべ」、「史跡案内」、島原を詠んだ「うた」。そして島原の歴史を折り込んだ「島原ふるさとイロハかるた」など。森岳の街路灯巡りは知る人ぞ知る「歌枕の旅」です。「街路灯さらく」も楽しいですよ。



3 青い理髪館 ☎(0957)64-6057

大正12(1923)年の床屋さんがそのまま残っていて、自由に入場できます。1階が観光案内所兼喫茶室。ホームメイドのお菓子やケーキがおいしい。片隅にハート型のクッション。2階はギャラリー。



4 堀の中(菖蒲園・ホテル)

もちろん江戸の昔には堀に降りる道などありません。お城の公園化で菖蒲園などとなって一般公開。やわらかい土の道を歩く心地よい。現在、文化会館が建つこの一角は二の丸跡。隣の小学校や高校は三の丸御殿の跡。キャンパス内に当時のままの石垣や庭園が残っています。

5 時鐘楼

島原藩の名君松平忠房公は「民に時刻を知らしめ、これを励行せしむることは政治の要道」と、時を告げる鐘を铸造させました。明治維新後も長くお城の鐘として重宝がられていました。はるか有明海で魚釣りする人にも役立つ名鐘でした。しかし戦争で供出！戦後復活しました。

島原さらく



1 『城下町散策コース』 ~森岳界隈をさらく~

モデルコースはグルッとさらく(回って)、2.1キロ!

「酒蔵」をスタート地点として番号をつけましたが、スタートとゴールがつながっていますので、どこから出発しても元のところに戻れます。お車の方は、島原城に停めたまま、散策するのもよろしいかと。



街歩きのポイントは「おはよう・こんにちは・こんばんは」です。せっかく旅に出たのだから、ちょっと勇気を出して道行く人に「こんにちは」と声をかけてみましょう。高校生が快く応じてくれますよ。島原散策の醍醐味は人とのふれあいです。

6 武家屋敷

この界隈は下級武士たちの屋敷跡。今も3軒が公開されていて自由に出入りできます。お邪魔して座敷から庭を眺めると何故かホッとします。かつてはすべての通りの真ん中に水路がありました。車社会になってほかの通りの水路は姿を消し、この通りだけが貴重な遺産を残しています。美しい街なみは町内の人たちの努力のたまものです。

水路に沿って散歩はいかが。400メートルほど車に出会わずにせせらぎの音を聞きながら歩くのはいいものです。その終点からそのまま水の流れに沿って歩けば、すぐ島原城の入り口です。

◆松陰井戸(砲術指南宮川家)

幕末の志士吉田松陰は、島原藩の砲術指南宮川度右衛門を訪ねて海防論を戦わせています。その時奥方様はこの井戸の水でお茶を接待されたそうです。

7 島原城 ☎(0957)62-4766

全国にお城は多いですが、島原城は実戦をくり抜けた珍しいお城。島原の乱で一揆軍の猛攻に耐えた天下の名城です。さすが築城の名手・松倉重政ノ。本丸と二の丸。それを取り囲む石垣と堀は当時のまま。そのスケールの大きさと幾多の歴史をご堪能ください。

築城に要した莫大な苦役とキリシタン弾圧が「島原の乱」の引き金になったわけです。一揆軍は押し戻されて(南に20数キロ)有馬の原城に天草四郎と籠城、そのまま悲しい運命をたどりました。

S字の道路は昭和のはじめに取り付けられたもの。数千の一揆軍侵入できなかったお城ですが、現在は本丸天守閣に車で横付け……。現在の天守閣は昭和になって市民の浄財で再建され、内部は超一級のキリシタン関係資料館となっています。入館料520円。

8 幻の廊下橋

天守閣(本丸)から梅園を抜けて二の丸との間の堀に抜けられる道があります。これも元々は無かった道。その間に堀をまたぐ廊下橋がありました。今はゲートボール場になっている所から見上げると本丸・二の丸双方の石組から、この堀をまたぐ廊下橋の存在が浮かび上がります。本物の石垣に手を触れながら、在りし日の島原城を想像するのも楽しい。

9 佐久間邸跡

上級武士たちはお城の周りと三の丸北側辺りに陣取っていました。この佐久間邸跡もその一つ。昭和時代まで残存していましたが、今はその跡だけが残っています。

石垣も隅切りで丸く積みなおされましたが、あなたの想像力で補ってくださいませ。

10 松平文庫(島原図書館)

島原藩大老・松平勘解由屋敷跡は島原図書館に生まれ変わりました。この二階には藩政時代の貴重な文書類が「松平文庫」として伝わります。その数1万点。日本中の研究者が注目する貴重な資料。もちろん一般の人でも利用できますよ。

	登録有形文化財建物		お土産あります		お食事喫茶処
	飲める水		七門跡※北門は地図外		
	無料シャトルバス停		城内		